

## 巻頭言

### 「健康な文化・風土を生きる－教育保健の可能性－」

日本教育保健学会 第22回年次大会長  
兵庫大学 大平 曜子

将来の変化を予測することが困難な時代だといわれます。少子高齢社会に加えグローバル化や情報化、AIを含めた技術革新が急激に進む現代において、子どもたちは、自らの生涯を生き抜く力を培っていかねばなりません。いつの時代も子どもたちは「希望」です。子どもたちの未来のために、今、私たちおとながなすべきことは、子どもたちの安全と平和、健康な日常を守ることでないかと考えます。

本学会のテーマは「健康な文化・風土を生きる－教育保健の可能性－」にいたしました。

少子化が進む中、不登校児童生徒数やいじめの認知件数は令和3年以降再び増加に転じ、過去最高とも称されています。また、件数や人数だけの問題ではなく、子どもの貧困、虐待、性的暴力、LGBTQ など子どもたちを取り巻く問題や困難は多様化・複雑化しており、健康な教育環境の確保がますます重要になっていると思われます。子どもの健康や発育発達に関わる課題は、家庭と学校だけでは到底解決には至りません。学校教育をはじめとした健康的な文化・風土の中で生まれ、子どもたちが伸び伸びと健康に生活することが大切なのです。子どもだけでなく誰にとっても真にウェルビーイングな社会の実現は大切なことですが、子どもたちにとっては、学校教育を中心に据えた、一人ひとりが尊重される健康な文化・風土の実現がいつそう重要になると考えられます。

本年次大会のメインシンポジウムのテーマは「健康な文化・風土を育むための『命の学習』の実践」としました。コーディネーターには、兵庫大学の若井和子教授と加古川市立嶋里小学校養護教諭の梅田裕之先生にお願いしています。パネリストには、養護教諭、担任、管理職、それぞれの立場から実践を踏まえたご意見をいただく予定です。嶋里小学校で進化・定着させてきた「命の学習」を基軸に議論を深めていただきたいと思います。

教育講演には、聖カタリナ大学教授の山本万喜雄先生をお迎えして、「健康と文化をつなぐ人間讃歌の教育保健実践」と題してご講演いただきます。

2日目には一般発表に加えて、特別講演として、兵庫大学の朽木 勤教授に「”身体からこころへ”Well-beingから学校の健康経営を考える」と題したご講演をお願いしています。また、研究委員会企画では「子どもが求めるこれからの学校」と題して、きのくに子どもの村学園理事長の堀真一郎氏にご講演いただきます。

社会が急速に変化し先が読めない時代は、蓄積した成果に頼ったトップダウン式ではなく、潜在的风险をも考慮し、柔軟に対応するボトムアップの文化・風土が大切になってくるといわれます。会員の皆さまには、未来を担う子どもたちのために、柔軟で自由な発想のご意見を賜りたく、教育保健の観点から大いに議論し、学びを深めていただきたいと思います。

本大会の開催に際して、ご後援をいただいた兵庫県教育委員会、加古川市教育委員会をはじめ、神戸市、高砂市、稲美町、播磨町の各教育委員会、兵庫県養護教諭研究会連盟、神戸市養護教諭研究会各位に心より感謝申し上げます。春まだ浅い3月1日・2日ですが、兵庫大学においでくださいますよう、実行委員一同、お待ち申し上げます。

## 日本教育保健学会第22回年次大会のご案内（第3報）

大会テーマ：健康な文化・風土を生きる－教育保健の可能性－

1. 開催日時：2025年3月1日（土）・2日（日）

2. 会場：兵庫大学 5号館（兵庫県加古川市平岡町新在家2301）

3. 後援：兵庫県教育委員会，加古川市教育委員会，神戸市教育委員会，高砂市教育委員会  
稲美町教育委員会，播磨町教育委員会，兵庫県養護教諭研究会連盟，神戸市養護教諭研究会

5. 参加費

- ・会員・当日会員 5,000円（講演集含む）
- ・教職員 3,000円（講演集含む）※後援予定の地域の現職教職員を対象とする。
- ・大学院生 2,000円（講演集含む）
- ・学生 1,000円（講演集含む）

## 託児所の設置

当日は託児所を設置予定です。託児の詳細は、後日、大会ホームページにて掲載します。

6. プログラム

参加申込の締め切り

2025年2月14日（金）

3月1日（土）

12:00～	受付
13:00～13:10	開会式
13:10～13:50	大会長講演 演題「健康な文化・風土と人間形成」 演者：大平 曜子 氏（兵庫大学 教授） 座長：長谷川 重和 氏（神戸親和大学 教授）
14:00～15:20	教育講演 演題：「健康と文化をつなぐ人間讃歌の教育保健実践」 演者：山本 万喜雄 氏（聖カタリナ大学 教授／愛媛大学名誉教授） 座長：尾崎 貴弥 氏（加古川市教育委員会 参事）
15:30～17:30	メインシンポジウム テーマ：「健康な文化・風土を育むための『命の学習』の実践」 コーディネーター：若井 和子 氏（兵庫大学 教授） 梅田 裕之 氏（加古川市立鳩里小学校 養護教諭） パネリスト：養護教諭の立場，担任の立場，管理職の立場，卒業生の立場など（予定） 質疑応答および協議
17:30～18:30	総会
18:30～	情報交換会



9:00~	受付
9:20~10:50	一般発表Ⅰ(口頭発表)※
11:00~12:20	特別講演 演題:「"身体からこころへ" Well-beingから学校の健康経営を考える」 演者:朽木 勤 氏(兵庫大学) 座長:米野 吉則 氏(兵庫大学)
12:30~13:00	ランチョンセミナー(仮)
13:10~14:10	一般発表Ⅱ(口頭発表)※
14:20~16:00	研究委員会企画講演会 演題:「体験学習で学校を変える」 演者:堀 真一郎 氏(きのくに子どもの村学園理事長)
16:10~	閉会式

※ 一般発表は、1演題15分発表、15分質疑応答の30分間です。演題プログラムは2月上旬を目途に、下記のホームページで掲載いたします。

### 会場アクセス

最寄駅⇒JR 東加古川駅(大阪・神戸・姫路から1時間以内)

JR 東加古川駅からスクールバスの利用可能(1日目のみ)

### 振込先

日本教育保健学会 ニホンキョウイクホケンガツカイ

ゆうちょ銀行の場合: 普通預金 【記号】10100 【番号】72582331

他の金融機関の場合:【店名】〇ー八 【店番】018 普通預金 【口座番号】258233

※ 手数料金は別途お支払いください。

### 7. その他, 詳細

第22回年次大会ホームページをご覧ください。 <https://sites.google.com/view/jahe22hyogo/home>

### 8. 年次大会事務局

兵庫大学 〒675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家2301

TEL: 079-427-5111(代表) FAX: 079-427-5112

事務局 米野吉則 e-mail: [jahe22hyogo@gmail.com](mailto:jahe22hyogo@gmail.com)

## 2025年日本教育保健学会冬のフォーラムの報告

2025年1月11日(土)、兵庫大学を会場に「包括的性教育に向かう文化と風土」をテーマにした2025年日本教育保健学会冬のフォーラムを、対面とオンラインで開催しました。本フォーラムは、3月1日・2日に行われる第22回年次大会のテーマ「健康な文化・風土を生きる—教育保健の可能性—」に関連する企画として実施されました。

フォーラムでは、包括的性教育の専門家である立教大学名誉教授の浅井春夫先生をお迎えし、ご講演をいただきました。また、兵庫大学養護教諭課程のリカレント・セミナーとの合同企画として、会員をはじめ兵庫県内の養護教諭や卒業生など、53名が参加し、活発な意見交換が行われました。ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

浅井先生の講演では、教育における文化や風土の重要性が強調され、これらが教育環境に与える影響についても詳し

く触られました。特に、文化や風土にはネガティブな側面もあり、それを改善することが教育の質向上に直結するという点が印象的でした。また、地域社会と協力して健全な環境づくりを進める必要性が説かれました。さらに、改訂版「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に基づき、子どもたちに対する「からだの権利」の教育の重要性が強調されました。

講演の後半では、家父長制が政治や家庭、組織など多くの社会システムに与える影響についても言及され、この構造がジェンダーに基づく不平等を助長していることが示されました。特に、月経や妊娠に関する偏見が医学や学術分野に及ぼしてきた影響についての指摘もありました。性教育の重要性については、フィンランドの事例が紹介され、フィンランドでは教師が「子どもたちのろうそく」として尊敬され、模範的な存在とされていることが紹介されました。この教育姿勢は、日本においても必要だと提案され、強い印象を受けました。

参加者からは、以下のような感想が寄せられました。「心が重視される昨今、「からだ」に主眼を置いた教育について後押しされていると感じた。体の方が視覚化できるため、子どもたちにもわかりやすいと思った」「期待以上の内容でとても満足している。もう少し聴きたかった」といったポジティブな評価が多かった一方で、「時間配分が前半に偏り、質疑応答の時間が足りなかった」「冒頭部分がオンラインで聞けなかった」といった運営に関する指摘もいただきました。今後のフォーラム運営に活かしていきたいと考えています。

この講演を通じて、教育の重要性や文化、風土が生徒たちの成長に与える影響について、より深い理解が共有できたことを嬉しく思います。3月1日・2日の第22回年次大会では、子どもや学校における健康な文化・風土についてさらに議論を深め、教育保健の可能性を広げていけることを願っています。

文責：米野吉則（第22回年次大会事務局）

2025年2月

日本教育保健学会 学会員各位

日本教育保健学会  
理事長 植田誠治

### 第22回通常総会の回答書提出のお願い

向春の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学会の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2025年3月1日（土）・2日（日）に、兵庫大学（兵庫県加古川市）において、日本教育保健学会第22回年次大会が開催されます。これにあわせて、第22回通常総会を下記のとおり開催いたします。

総会成立の定足数は、「全会員の5分の1」です。会員の皆様には、是非とも年次大会に参加いただき、総会に出席くださいますようお願いいたします。やむを得ず、通常総会に出席いただけない場合は、ニューズレターに同封しました「議案書」を確認いただき、「回答書」に必要事項を記入の上、事務局宛に郵送又はメールにて送付ください。

なお、回答書は、メールの場合は2025年2月28日（金）まで、郵送の場合は2025年2月21日（木）必着にて、送付いただきますようお願い申し上げます。本学会ホームページにも「回答書」書式を掲載しておりますのでご利用ください。

### 記

日本教育保健学会第22回通常総会

期日：2025年3月1日（土）17時30分～18時00分

場所：兵庫大学

以上

事務局からお願いがございます。学会からの郵便物が届かない会員の方が散見されます。郵便物が届いていない会員の方は、事務局までご連絡をお願いいたします。また、会費を未納されている会員の人数も増えており、学会の運営に支障が出ております。2024 年の会費は、12 月末までに納入いただきますようお願いいたします。年会費を電信扱いにて納入される場合は、「会員氏名と納入される年会費」をご入力ください。

郵便振替口座：00170-9-451310

他金融機関からの振込：〇一九（ゼロイチキュウ） 当座 0451310

加入者名：日本教育保健学会

[事務局] 〒243-0292  
神奈川県厚木市下荻野 1030 神奈川工科大学内  
日本教育保健学会 事務局 欠ノ下郁子  
TEL: 046-206-0258 (研究室直通)  
e-mail: office@educational-health.jp

編集：広報委員会  
(鎌田克信：東北福祉大学)  
TEL/FAX: 022-301-1143 (研究室直通)  
e-mail: k-kamada@tfu.ac.jp